

# 気候変動への対応

## TCFD提言への対応状況

当社は、環境・気候変動への対応を重要課題と捉え、令和4年5月に気候関連財務情報タスクフォース（TCFD）提言への賛同を表明しました。同提言に則った当社の取組みは以下のとおりです。



項目	開示内容
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"><li>● 当社では、持続可能な社会の実現及び中長期的な企業価値の向上に向けて、取締役会の監督の下、環境・社会問題をはじめとするサステナビリティに関連する取組みの管理・推進体制を構築しています。</li><li>● 管理面においては、取締役会の監督の下、社長兼CEOを委員長とするグループリスク管理委員会において、気候変動を含む環境・社会に係るリスクへの対応方針や取組計画等を策定・実行しています。また、重要な事項については、取締役会へ報告・付議しています。</li><li>● 推進面においては、経営会議若しくはグループ戦略委員会において、気候変動を含むサステナビリティ関連施策を協議・決定し、グループ銀行子会社と緊密に連携して、推進を図っています。</li></ul>
戦略	<p>当社グループでは、持続可能な社会の実現に向けて、環境・社会問題をはじめとするサステナビリティ関連への対応を重要な経営課題の一つとして位置づけており、機会及びリスクの両面から取組みを進めています。なお、気候変動が当社グループにどのような財務的な影響を与えるかについてのシナリオ分析は現在、その方法について検討を進めています。</p> <p>◇機会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 再生可能エネルギー事業へのファイナンスや、お客さまの温室効果ガス排出削減支援、環境負荷軽減を目的としたサービスの提供等を通じて、脱炭素社会の実現に取り組んでいます。</li></ul> <p>◇リスク</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 気候変動に関連するリスクは、物理的リスクと移行リスクを認識しています。</li><li>● 物理的リスクは、極端な気象現象の過酷さ・頻度の上昇やより長期的な気候パターンの変化によって、資産・負債に影響を与えるリスクを想定しています。</li><li>● 移行リスクは、政策変更等の脱炭素社会への移行に伴い、資産・負債に影響を与えるリスクを想定しています。</li></ul>
リスク管理	<ul style="list-style-type: none"><li>● 当社グループは、気候変動に起因する物理的リスクや移行リスクが当社グループの事業、戦略、財務計画に大きな影響を与えることを認識し、統合的リスク管理の枠組みにおいて、これらのリスクを管理する態勢の整備を進めています。</li></ul>
指標と目標	<ul style="list-style-type: none"><li>● 気候変動リスクに関連する指標と目標については、上記のシナリオ分析等を踏まえて、今後検討していきます。</li></ul>